

記載例

令和●●年●●月●●日

鳥取県知事 平井 伸治 様

住 所 ●●市●●町●●一●● ●●ビル ●●F

代表申請者名称 株式会社 ●●●●●

代表者役職 代表取締役

代表者氏名 ●● ●●

参加事業者のうちいずれか1者を
代表申請者として申請してください

印

代表者印を押印してください

地域で頑張るお店応援事業補助金交付申請書

地域で頑張るお店応援事業の交付を受けたいので、鳥取県補助金等交付規則（昭和32年4月鳥取県規則第22号）第5条の規定により、下記の通り申請します。

記

補助事業等の名称	地域で頑張るお店応援事業
補助対象経費の額	2,667,000円 ← 様式第1号「事業計画書」の「4 事業費の内訳及び算出根拠」合計金額
交付申請額	2,000,000円 ← 上記補助対象経費の4分の3（1,000円未満切り捨て） ※様式第1号の補助金交付限度額を上限 （200万円もしくは補助金交付対象構成員数×20万円のいずれか低い額を限度）
添付書類	1 補助事業実施計画書 2 収支予算書

様式第1号（第5条関係）

令和2年度地域で頑張るお店応援事業補助金事業計画書

1 事業実施主体の概要

グループの名称	●●イベント実行委員会有志			
代表申請者	(法人の場合、法人名及び代表者職氏名) 株式会社 ●●●● 代表取締役 ●● ●●			
連絡先	電話番号	XXXX-XX-XXXX	F A X	XXXX-XX-XXXX
	E-mail	XXX@hoge.com		
所在地 (場所が特定できない場合、代表申請者所在地住所)	〒680-XXXX ●●市●●町●●-●● ●●ビル ●●F (代表申請者所在地)			
グループの概要	地元の〇〇を活用した取組みを広く県内外に発信するため、〇〇商工会の有志が集まり、〇〇年から毎月定期的にイベントを開催している			
様式に記載する構成員の数	20者 (実構成員数約80者) ←実構成員数と異なる場合に記載			
構成員数	うち補助金交付対象構成員数 (別途この補助金の交付を受けていない者に限る)	10者	補助金交付限度額 (上限額200万円) 補助金交付対象構成員数×20万円	200万円
グループ構成員	別紙構成員一覧表のとおり			
消費税の取扱い	(該当する区分に☑してください。) <input checked="" type="checkbox"/> 一般課税事業者 <input type="checkbox"/> 簡易課税事業者 <input type="checkbox"/> 免税事業者			

2 事業の概要

事業名	●●イベント
事業実施期間	令和●年●月●日 ~ 令和3年3月31日
事業実施場所	●●市●●地区●●広場等
事業の目的・概要 <small>※補助金を活用して実施する事業の内容及び実施体制について具体的に記載してください。</small>	地域のにぎわいづくりを図るため、地域の店舗が出店するマルシェを開催する。 開催日 令和●年●月～●月まで毎月第1日曜に開催 (●回、詳細日程は調整中) 主な内容 ・地元の〇〇を活用した●●を無料で配布 (●月と●月) ・地域の店舗が飲食ブースを出展 (各回約●社出店) ・●●と連携した●●の体験コーナー
他の補助金の活用の有無	(該当する区分に☑してください。) <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 ●●市●●補助金 (●円 (予定)) 補助金担当者 ●●市●●課 電話XXXX-XX-XXXX ※「有」の場合は、活用する補助金名やその事業内容、当該補助金に関する問合せ先 (補助金を所管している部署名や団体名及び連絡先) を記載してください。 ※他に県補助金の交付を受けている場合、この補助金の交付を受けることはできません。 (補助金交付後に発覚した場合、補助金を返還していただきます。)

注：上記の内容が記載されていれば、様式は別葉又は別紙で構いません。

4 事業費の内訳及び算出根拠

事業の 細目	科目	積算	計	財源内訳	
				県費	県費以外
<p>●●イベント ●月開催 ↑ 複数回実施・複数内容実施の場合はそれぞれの内容が分かるようにしてください</p> <p><共通> PR委託</p>	<p>謝金</p> <p>委託費</p>	<p>地域芸能●●出展の謝金 (●円×●名)</p> <p>県外発信プレスリリースの作成・発信 ●円×●回</p>	<p>●●円 ↑ 県費と県費以外の合計</p> <p>●●円</p>	●●円	●●円
計			●●円	●●円	●●円

委託料・外注費を県外発注する場合は必ず事前に県の承認を得てください (様式第2号別紙による)

※金額は税抜き (税額を含める場合は別途仕入れ控除税額確定報告書 (様式第5号) の提出が必要です。)

交付申請額と同一

様式第1号別紙
構成員一覧表

様式に記載する構成員の数（実構成員数でなくとも可）

1枚目/全 2枚

グループの名称		構成員数	うち今回の補助金交付対象者
●●イベント実行委員会有志		20	10
構成員		今回の補助金交付対象者（該当者に☑） ※別途この補助金の交付を受けていない者に限る	
代表申請者	所在地・住所 ●●市●●町●●-●●ビル ●●F 企業名（屋号） 株式会社 ●●●●●● 代表者 職氏名 代表取締役 ●● ●● <input type="checkbox"/> 私は代表申請者として、補助金の手続き（申請、完了報告、交付請求）を行います。	交付申請書と同じ印を押印 	<input type="checkbox"/> 算定対象者でなくとも 代表申請者とすることは可能
2	所在地・住所 ●●市●●町 企業名（屋号） 算定対象者には必ず☑ 代表者 職氏名 当該申請以外にすでに算定対象の交付決定を受けている場合は不可 <input type="checkbox"/> 私は上記の代表申請者を代理人と定め、補助金の手続き（申請、完了報告、交付請求）に関する権限を委任します。		<input checked="" type="checkbox"/>
3	所在地・住所 ●●市●●町 企業名（屋号） 特定非営利活動法人 □□□□□□ 代表者 職氏名 代表理事 □□□□□□ <input type="checkbox"/> 特定非営利活動法人・医療費人・社会福祉法人等、中小企業者に該当しない者については、中小企業者と連携して申請する場合のみ参加事業者とすることが可能		<input checked="" type="checkbox"/>
4	所在地・住所 代表者 職氏名 <input type="checkbox"/> 私は上記の代表申請者を代理人と定め、補助金の手続き（申請、完了報告、交付請求）に関する権限を委任します。	この補助金の交付をすでに受けているなど、算定対象外の者についてはチェックを入れない（一覧に記載するかどうかは任意。☑がない者については別事業での申請時に算定対象とすることは可能）	<input type="checkbox"/>
5	所在地・住所 企業名（屋号） 代表者 職氏名 <input type="checkbox"/> 私は上記の代表申請者を代理人と定め、補助金の手続き（申請、完了報告、交付請求）に関する権限を委任します。		<input checked="" type="checkbox"/>
6	所在地・住所 企業名（屋号） 代表者 職氏名 <input type="checkbox"/> 私は上記の代表申請者を代理人と定め、補助金の手続き（申請、完了報告、交付請求）に関する権限を委任します。		<input checked="" type="checkbox"/>
7	所在地・住所 企業名（屋号） 代表者 職氏名 <input type="checkbox"/> 私は上記の代表申請者を代理人と定め、補助金の手続き（申請、完了報告、交付請求）に関する権限を委任します。		<input checked="" type="checkbox"/>
8	所在地・住所 企業名（屋号） 代表者 職氏名 <input type="checkbox"/> 私は上記の代表申請者を代理人と定め、補助金の手続き（申請、完了報告、交付請求）に関する権限を委任します。		<input checked="" type="checkbox"/>

令和2年度地域で頑張るお店応援事業収支予算書

1 収入の部

(単位：円)

科目	金額	摘要
補助金	2,000,000	地域で頑張るお店応援事業補助金（鳥取県）
	500,000	●●補助金（●●市）
自己資金	167,000	●●イベント実行委員会有志
計	2,667,000円	

(注) 収入の内容を具体的（手数料収入、市町村補助金等）に記載すること。

2 支出の部

(単位：円)

科目	金額	摘要
謝金	●円	様式第1号「4 事業費の内訳及び算出根拠」と記載を合わせる
借料		
広報費		
印刷費		
委託料		
雑役務費		
計	2,667,000円	

(注) 摘要欄には、積算等を明記すること。